



3

## ネット上の部落差別

今日は、帰宅途中の会社員一人の会話からお聞かせください。

【会社員A】 昨日たゞ、YOUTUBE上で動画を見ていたら、そのあたりのトピックが紹介されてたんだよね。

【会社員B】 何か有名なお店でもあるの?

【会社員A】 違う、違う。なんかトピック邊で…

【会社員B】 それ、何でこう動画だったの?

【会社員A】 被差別部落がどうとか言ってたんだけどね…

トリつしたトピックは、私たちのすぐ身近で起つていて、一人は自分たちの会話が、今も根深く残つている同和問題（部落差別）につながつてゐるトピックでつらなかのかもしけれません。

YOUTUBE上では、特定の地域に対する差別や偏見を増幅するような動画や書き込みが見られます。たまたま見ていた動画配信サイトに自分の家の近くの地名があつて、つい見てしまつたところの人々の反応は、どうやらけつてゐる。動画は、一度再生すると次から次くと似たような差別的な動画につながつてしまい、それを連続して見てはいるうちに、歪んだ情報を無意識に本当のトピックのよつに思ひ込んでしまつ危険性があります。

また、それを鵜呑みにして軽い気持ちで拡散してしまつて、誤った情報ばかりが広がつてしまつ結果になるのです。

さて、家に帰つていた会社員は、父親に聞いてみました。

【会社員A】 父さん、被差別部落ってウチの近くにあるのかな?

【父親】えへ、ひとつてそんないじを聞くんだ?

【会社員A】 近くにあるかもつて思つたら、なんだか気になつてた…。

【父親】 なんで気になるんだ? お前は、被差別部落って、ひとついつ所だとと思つてるんだ? それが気になるつてトリヒは、偏見の気持ちがあるつてトリヒやないのか?

【会社員A】 そつか…、そつだよね。

学校や会社で習つたはずなのに、自分の中にも偏見があつたのかなあ。

【父親】 そつだな。近づくのは、ネットで偏見や差別をおもるような情報が流れつてゐるから、そんな情報に惑わされないものにしないとな。

いかがでしたか。

理り部族差別を解消するには、同和問題（部落差別）への正しい理解が、何より大切です。

北九州市人権問題啓発推進協議会では、人権研修資料「モモマルくんと考え方」を作成し、その第一巻から第三巻で、同和問題（部落差別）を、わかりやすく解説しています。「モモマルくんと考え方」は、北九州市人権推進センターなどでお渡ししています。

ぜひ、あなたも手に取つて、モモマルくんと一緒に、考えてみませんか。  
では、また。

